

「生産性倍増委員会」の概要

1. 構成員

(敬称略)

主宰	すど ふみお 數土 文夫 (取締役会長)
メンバー	ひろせ なおみ 廣瀬 直己 (代表執行役社長) やまぐち ひろし 山口 博 (代表執行役副社長) しまだ たかし 嶋田 隆 (取締役) さの としひろ 佐野 敏弘 (代表執行役副社長、フュエル&パワー・カンパニー・プレジデント) たけべ としろう 武部 俊郎 (常務執行役、パワーグリッド・カンパニー・プレジデント) やまざき たけし 山崎 剛 (常務執行役、カスタマーサービス・カンパニー・プレジデント) い き もとみ 壹岐 素巳 (常務執行役) にしやま けいた 西山 圭太 (執行役) ふばさみ せいいち 文挾 誠一 (執行役員経営企画本部事務局長) ふしみ こずえ 伏見 こそえ (資材部長) かわむら しんいち 川村 慎一 (原子力設備管理部長) うだ さこん 宇田 左近 (調達委員会委員長、元日本郵政(株)専務執行役) なかつ ひろかず 仲田 裕一 (調達委員会委員、元川崎製鉄(株)資材部長、原料部長) ごとう おさむ 後藤 治 (調達委員会委員、A.T.カーニー(株)パートナー)
オブザーバー	経済産業省資源エネルギー庁 原子力損害賠償・廃炉等支援機構

2. 委員会の目指す姿

- ・ サプライチェーンごとにこれまでの取り組みを精査し、持続的に生産性向上が図られる会社へとコスト体質を変える。
- ・ そのために、「総括原価方式」の文化から完全に脱却し、国際競争下にあるメーカーを視野に入れ、高い生産性を実現することを目指して、目標設定・原価管理の仕組みを徹底的に導入する。

3. 委員会の進め方

- ・ 他産業や国際的なベンチマークとの比較を含め、これまでの合理化努力をできる限りオープンにする。
- ・ その上で、人・モノ・金の効率性を高めることを目指し、コスト削減余地・生産性向上余地を外部専門家も活用して徹底的に検証する。
- ・ 最終報告として「合理化レポート」をとりまとめるとともに、「合理化レポート」の進捗については、モニタリング・フォローアップを確実に実施する。

4. 設置日

- ・ 平成 26 年 9 月 4 日

以上